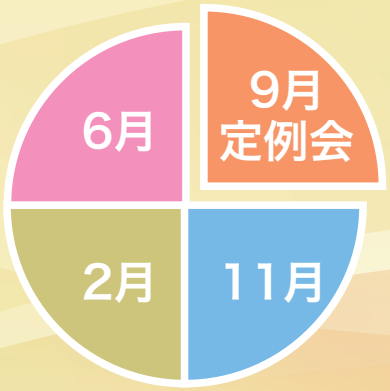
みてんか

まつさか市議会だより

vol.88
2021.12.1

「みてんか」は電子ブックやＰＤＦでもご覧いただけます。

一般質問 ……14
議会報告会
これまで16回の歩み……22
政務活動費今年も削減！…22



令和2年度松阪市一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定についてなど26議案を認定・可決・同意・賛成

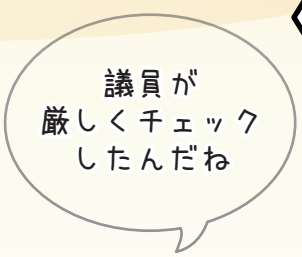
令和2年度決算を

議会がチェック!

令和3年9月定例会は、一般会計と8つの特別会計および水道・下水道・市民病院の3つの企業会計の令和2年度決算認定が行われました。一般質問は9月10日、14日、16日の3日間、15人の議員により行われました。

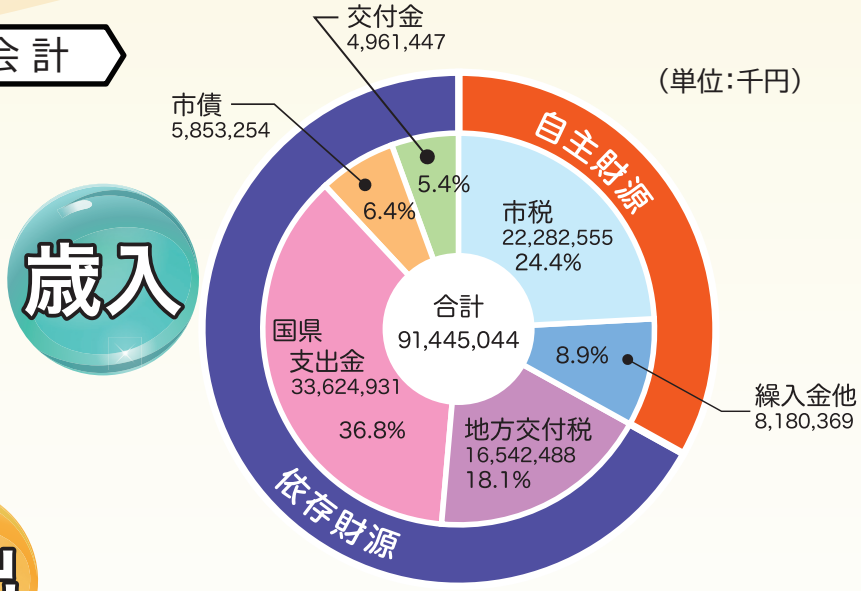
議案26件、請願4件、発議6件が討論・採決され、原案どおり可決されました。

一般会計

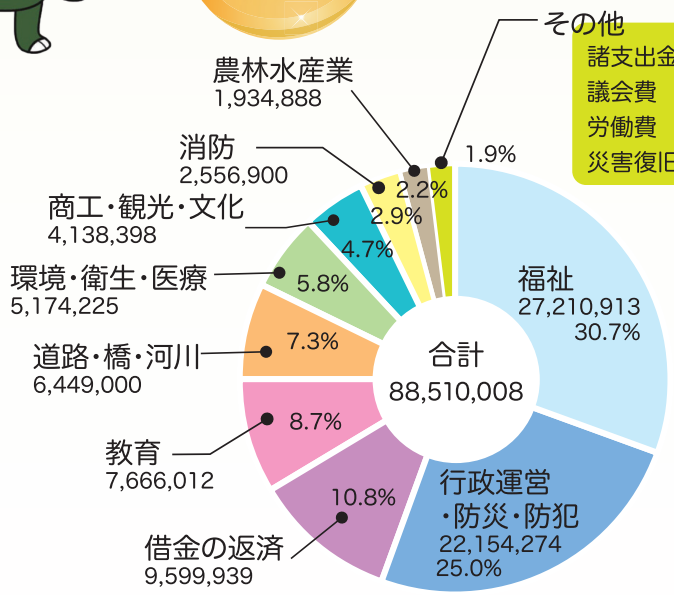


歳入

（単位：千円）



歳出



諸支出金	1,002,000（1.1%）
議会費	409,249（0.5%）
労働費	141,193（0.2%）
災害復旧費	73,017（0.1%）

用語解説

自主財源とは

皆さんに納めていただく市税やスポーツ施設などの施設使用料、住民票や印鑑証明の手数料など、松阪市が自主的に収入することができるお金のこと。

決算審議

決算審議スケジュール

本会議（初日） 市長から前年度決算議案の上程・説明
→ 決算調査特別委員長の選任〈決算調査特別委員会を設置〉
→ 決算調査特別委員を選任（※特別委員は、議長・議会選出監査委員を除くすべての議員を選任〈26人〉）
→ 付託

決算調査特別委員会
- 正副委員長の選任
- 4分科会へ分担送付
  - 総務企画分科会審査
  - 環境福祉分科会審査
  - 文教経済分科会審査
  - 建設水道分科会審査
- 各分科会長からの報告・質疑・議員間討議・討論・採決

→ **本会議** 決算調査特別委員長から審査の状況を報告
→ 議決 決算の認定・不認定

8月 監査委員による決算審査
6月、7月 決算書や資料を作成
出納整理期間 4月1日～5月31日
3月31日 事業が終了
9月 前年度の予算は適正に執行されたか、しっかり審議します！
10月 新年度予算の作成へ

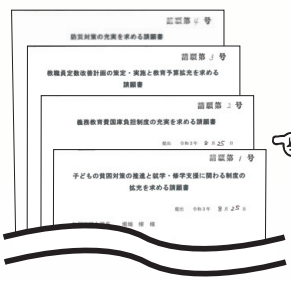
Check!

決算審議は9月2日に議案上程を行い、議長、議員選出監査委員を除く26人で決算調査特別委員会を構成し、7日に本会議での質疑、17日に総務企画、21日と27日に環境福祉、22日に文教経済、24日に建設水道の4つの分科会で審査を行いました。10月5日に決算調査特別委員会での分科会長報告、討論、採決、8日の本会議で認定・不認定の採決を行いました。

請願

請願4件を採択

詳細はホームページに掲載中



「子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書」など4件を採択

依存財源とは

道路や施設を造るときに国や県からもらう国庫支出金や県支出金、道路や施設を造るために借りる市債、国や県からもらう交付金や譲与税のこと。

総務企画分科会

歳入

決算額　歳入 91,445,043,670円
　　歳出 88,510,007,510円

Q 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による財政への影響下、結果として健全な財政運営ができたのか。その実態は。

A 国の地方創生臨時交付金と財政調整基金を活用し、健全な財政運営ができた。

令和2年度市税収入	222億8,255万5,501円
国庫支出金	290億4,223万2,483円

意見 新型コロナウイルスに係る地方創生臨時交付金の財政基盤があったことによる財政運営であったことを共通認識としたい。同交付金と財政調整基金との関連性について、今回の決算説明の中に記述するべきである。

津波避難施設整備事業

決算額　24,424,472円
※令和2年度は実施設計、用地買収、移転補償等の計画

Q 事業のうち、物件移転補償金とは何か。

物件移転補償金等	決算額　585,496円

A 五主地区については、広告看板と立ち木を、松名瀬地区についてはNTTの電柱とケーブルを移転した。

Q 予定していた造成設計業務分を繰り越した理由は。

実施設計業務委託金	決算額　6,394,800円

A 市の用地選定において、地元承認を得るのに不測の日数を要したため、発注が遅れた。

▲松名瀬津波避難タワー完成予想図

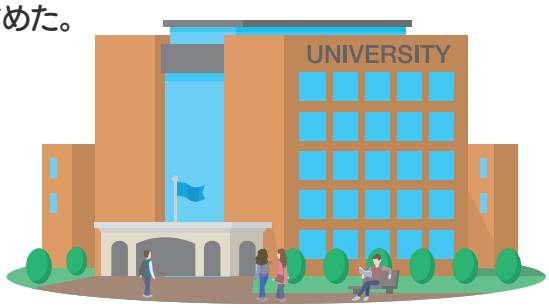
大学誘致等基礎調査事業

決算額　2,475,000円
※高校2年生を対象に県内1,950人、県外300人からの回答をもとに調査報告を作成

Q 大学誘致基礎調査のアンケート結果は。

A 松阪市に大学ができたら、「自宅から通える」「経済的な負担が少ない」等の経済的な負担を意識した回答が高い数値を占めた。

意見 若者が松阪市から流出しないよう、ニーズに応えられるようにこの調査を生かしてほしい。

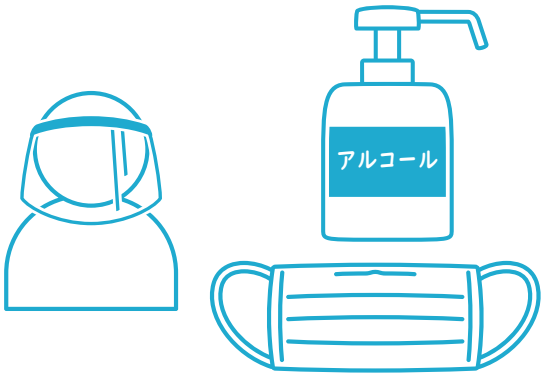


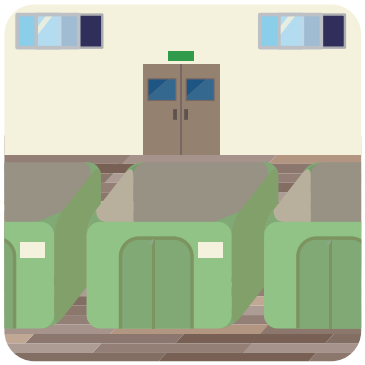
災害用備蓄管理事業

決算額　34,298,730円

Q 新型コロナウイルス感染症拡大により、これまでに備蓄していなかったものが配備されたのか。

A 災害用備蓄倉庫へは、大型簡易ベッドやテント型間仕切りを、避難所へは感染症対策物品として、マスク・消毒液・フェイスシールドを配備した。





空家バンク活用補助金

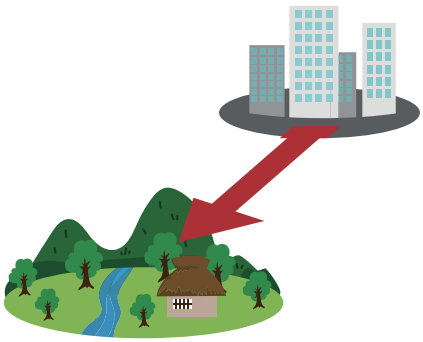
決算額　1,294,000円

Q 空家バンクの改修補助額が他市では100万円のところもあり、本市の50万円は少ないのではないか。

A 他市は確認していないが、交付を受けた人からはそのような意見はない。

意見 補助金を増額すれば、本市へ来る人が増えるのではないか。他市の状況を調べ金額の検討を願う。

また、移住促進の予算が「地域振興局費」であるため、振興局の業務であるかのようになる。「移住促進費」等、別に予算立てを検討すべきである。



環境福祉分科会

交通安全対策費の効果は

決算額　23,157,661円

Q 人口10万人当たりの交通事故死者数12人でワースト2位。既存の事業では不十分な結果と考えるが見解は。

A 交通事故件数は減っているが、死亡事故が減っていない。反射材の着用、横断歩道での事故に対する啓発を重点的に行う。

意見 横断歩道の白線が消えている。県に要望を。

地域自殺対策強化事業

決算額　188,820円

Q 自殺者の減少を目指し目標値が設定されている。10年来減っていないことへの見解は。

A 数値的に減っていない認識はある。何かあればすぐに相談できる事業展開を考えている。

▲出典
「誰でもゲートキーパー手帳」
（厚生労働省 HP）

意見 先進地の事業を取り入れて対策していただきたい。

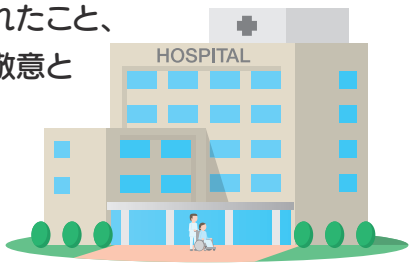
松阪市民病院の頑張りに対して

松阪市民病院事業

Q コロナウイルス感染症の影響を理由に退職した職員は。

A コロナ対応を理由に退職した職員はいない。

意見 コロナ対応で誹謗（ひぼう）中傷等があった中、一丸となって取り組まれたこと、松阪地域の医療の中心となり現在も対応いただいていることに敬意と感謝を申し上げる。



塵芥（じんかい）収集事業

決算額	377,268,689円

Q ごみの量全体が減る中、ごみの持込みが増えている。その分析と申請書の周知方法は。

A 家庭系ごみが810㌧増え、事業系ごみが1,528㌧減っている。コロナの影響から外出機会の減少に伴う家庭ごみの搬出増、事業活動の停滞が原因。ゴミ分別ガイドブックを改定し啓発した。

コロナ禍で生活困窮者支援事業の効果的な検討を

決算額

生活困窮者自立相談支援事業費	21,413,922円
生活困窮者住居確保給付金支給事業費	28,389,974円
生活困窮者家計改善支援事業費	5,143,000円
生活困窮世帯学習支援事業費	3,700,994円

Q 対応件数に対し、プランが少ない。対応するチームの在り方はどうか。また、学習支援は2カ所のみ。オンラインシステムの導入などは。

A プランは一方的に作るものではないが、コロナ禍で、住居確保給付金が急増した。当初5人で対応し、プラン作成に至らなかったが継続的な支援を行った。また、学習支援は嬉野振興局の利用が5倍に増えた。

意見 コロナ禍だからこそ今抱えている悩みに寄り添い、一人でも多くのプラン作成を進め、3会場目も検討を。

黒字の国民健康保険の還元は

Q 令和元年度との比較で、実質収支額が3億5,000万円増えている。被保険者への還元等は。

A 翌年度の税率を上げないため、基金積立が必要。税率を下げるのは困難。他を検討する。

幼保職員確保対策の工夫は

Q 職員配置は現場に即した柔軟な対応か。正規職員割合の不足に対しての取り組みは。

A クラス運営ができることに重点を置いた配置。令和2年から5年配置を原則にした。園長18人中12人が元小中学校長などの会計年度任用職員。今後、正規職員園長が増え、現場体制が課題となるので職員課と協議を進めた。

障がい者雇用促進事業

決算額　350,220円

Q コロナ禍の中、障がい者雇用への影響は。

A 就職面接会の規模縮小等はあったが、松阪管内の雇用率は昨年より上がり2.08%となった。事業者には努力をしていただいた。

ふるさと特産品ＰＲ事業

決算額　596,342,212円

Q 令和2年度のふるさと応援寄附金額は、対前年度比1.1倍増の12億8,728万円。この事業の評価・分析および課題、令和5年度の目標20億円達成に向けての分析は。

A 令和２年度１５億円の目標に対し、12億8,000万円となり、達成率は85%。返礼品の事業者数や返礼品数を拡充し、ふるさと納税申込の自主サイトの開設、PRを強化する等取り組んできたが目標に達しなかった。コロナ禍において米や生活雑貨等の寄附単価が安い物の件数が伸びている。松阪牛ブランドの価値は維持しつつ、生活に必要な魅力ある返礼品が課題である。

テイクアウト支援商品券事業

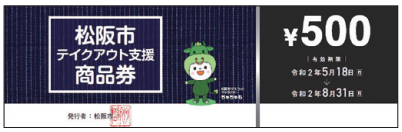
決算額　53,995,566円

Q アンケートで77.8%の登録店舗が支援になったと回答されているが、登録店舗はどれくらいあったのか。

A 315店舗が登録いただいた。

Q 22.2%の、支援にならなかったと回答した店舗の反応とその理由の分析は。

A 飲食店でも事情が様々で、テイクアウト商品を本格的に提供できないところ等は支援にならなかった。この機会に新たな商品を開発できたかが、差が出た要因の一つである。市としては商品券を通じて支援に寄与できたと考える。



就労の広場・産業支援センターの相談業務

就労の広場：生活困窮者・障がい者・子育て世代や高齢者の方等への職業相談等
産業支援センター：市内の中小企業や小規模事業者等への無料相談等

Q 就労や補助金、支援関係の相談がかなり増えているが、相談業務の状況は。

A 求職や生活支援の相談が1,075件あり、そこから34人が就職に繋がった。産業支援センターには1,147件の相談があり、前年度比466件の増。コロナ関係の相談が805件。コロナ禍を通じて産業支援センターの認知度や、果たす役割が浸透した。

文教経済分科会

学校規模適正化等に関する検討委員会

児童生徒数の減少、学校施設の老朽化を踏まえ、統廃合を含めた小中学校の適正規模や配置について検討する委員会

Q コロナ禍での令和2年度の開催状況は。

A 第1回は7月、第2回は10月に開催したが、それ以降は開催できず書面協議を進めた。

Q 予定では、令和3年7月に答申を出して、地域へ持ち帰って検討、意見交換と聞いていたが変更はあるのか。

A 予定より大幅に遅れているが、学校再編活性化はじっくり論議したい。予定にとらわれずしっかり意見を聞いて、地域や関係者に説明する中で市としての方針を決めていく。

意見 ロードマップにこだわることなく、丁寧に協議を進めてほしい。

いじめ等対策事業

決算額 24,460,329円

Q Q—U（子ども達への学級満足度調査アンケート）の満足度が高い状況なのに、数年来いじめの件数が増えている。整合性は。

A 丁寧に指導していくことで、早期に相談するなどいじめに対する意識が高くなってきたため、報告件数が増えている。

Q Q—U、hyper－QUで得られた情報を生かせているのか。教職員の分析力の問題は。

A Q—Uを専門に分析する職員を中心に研修を行うことで、学校現場に分析する力が身についてきている。各学校において、データを基に一人ひとりの支援を行っていると認識している。

道路の草刈

決算額　道路維持修繕事業費　413,516,065円
　　道路清掃等事業費　13,172,786円

Q 道路の草刈場所は地域からの要望により行うのか。

A 除草場所は毎年同じ主要幹線道路と堤防道路であり、地域からの要望ではない。

Q 市道の沿道における草刈りについて高齢化により難しくなってきている地域への対応内容は。

A 交通量が多く見通しの悪い交差点などは建設保全課で対応し、自治会などからの要望があればコンクリートや防草シートなど材料を支給している。

意見 市道を守っていくためには地域の理解が必要であることから、相談があった場合は十分に対応をするように。

▲市道宮町高町線　除草前と除草後

道路や河川などの修繕

Q 地元要望があった道路や河川などの修繕件数と処理件数は。

A 建設保全課に係る要望件数は707件で処理件数は457件。処理率としては65%である。

意見 実行宣言での目標も65%だが、もっと高い目標を設定してもらいたい。

Q 松阪ナビから道路陥没の通報ができるが処理状況は。

A 月に2、3件の通報をいただいている。すぐに対応しているが補修に時間が掛かる場合は松阪ナビに対応中と発信している。

意見 令和2年度から開始した事業なので周知の徹底をしてほしい。

建設水道分科会

松阪駅西地区の複合施設計画

Q 松阪駅西地区の複合施設計画へのヒアリングの回数と内容および課題は。

A 事前にアンケートを記入してもらい、内容を精査した上で17社と1回行い、内容は松阪駅西地区のポテンシャル、開発への参加の意向、想定する事業内容、活用する土地の範囲などである。課題としては規模によっては線路沿いの土地の一部で準工業地域による日影規制や斜線制限があり、また駅西周辺にある既存の建物との連携やどのようにまとめていくかなどである。

▲松阪駅西地区複合施設基本構想

水道事業

Q 管路の耐震改修について全国平均を下回っているが進捗(しんちょく)状況は。

A 令和2年度も松阪市水道事業ビジョンに基づく基本計画書どおり順調に進めた。

Q 石綿セメント管はあるのか。

A 石綿セメント管は工事が難しい場所や県道に300メートルほどある。

市営住宅

決算額

市営住宅維持修繕費	103,922,973円
新型コロナウイルス感染症による市営住宅緊急入居事業費	4,372,610円

Q 老朽化した市営住宅の住み替えの進捗状況と課題は。

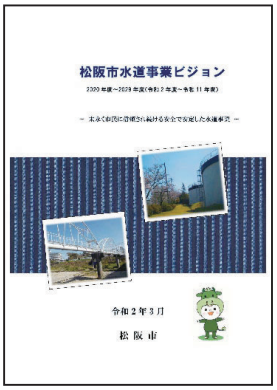
A 当初計画が11戸であったが、19戸の住み替えがあり順調に進めた。課題としては対象者が高齢であり、住み替え先に1階を希望しているため提供物件が不足していることである。

Q 新型コロナウイルス感染症による市営住宅緊急入居事業費により修繕を行った8戸のうち入居者は。

A 3戸入居があった。

▲緊急入居事業により修繕を行った市営住宅の外観と内観

▲解体予定の市営住宅



▲松阪市水道事業ビジョン

委員会での主な質疑

総務企画委員会

●庁内ＯＡ化推進事業

補正予算額　3,027,000円

●庁内ネットワーク管理事業

補正予算額　1,511,000円

Q 庁内ＯＡ化推進事業費と庁内ネットワーク管理事業費の内訳は。

A 庁内ＯＡ化推進事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ウェブ会議用大型モニターやマイクスピーカー、ヘッドセット等の購入。
庁内ネットワーク管理事業費は、産業振興センターにおいて、分散勤務の利用を拡大するため環境整備を進め、必要となる機器等を調達する費用である。

意 見　今回購入する備品等について、ウェブ会議等でさらなる有効活用を願う。

●過疎地域持続的発展計画

Q 過疎地域においては上下水道や簡易水道も整備されていない地域があるが、この計画から外れることはないのか。

A 必要な整備が出てきた際には、この計画の位置付けで進めていく。

Q 遊休農地の活用及び耕作放棄地対策は。

A 農家と中山間地域の直接支払い制度を活用し、生産性の条件が不利な農地をまとめて守る事業を行う。

Q 地場産品の活用による雇用の増加とあるが、可能なのか。

A 中山間地域ならではのものを製品化していく研究をしながら、新たな雇用や産業の振興につなげていく。

意 見　地域住民と十分協議し、民間の情報も集めながら過疎地域がよくなるように努めてほしい。

文教経済委員会

●【第2弾】コロナに負けるな！松阪みんなの商品券事業

補正予算額　14,403,000円

Q 子どもの養育費が家計への大きな負担となっている世帯への商品券の追加交付であるが、ひとり親世帯や多子世帯のみへの交付は、コロナ臨時交付金の使い方として問題ないのか。

A 経済的負担が特に増している世帯への早急的な支援として行い、地域経済への支援にも繋がるため問題はない。

●【第２弾】コロナに負けるな！キャッシュレス還元事業

補正予算額　395,671,000円

Q 昨年は約1億9,000万円の予算に対し、還元額が約7,800万円となり、予定よりかなり利用者が少なかったが、今回昨年度の倍近くの4億円程の予算計上となった根拠は。

A 他自治体キャンペーン第2弾、第3弾の実績で飛躍的に決算金額が増えていることを参考に還元額を算出した。

Q 新たな店舗や、まだ利用されていない消費者への取り組み、前回からの改善点は。

A 昨年度は1社との随意契約をしたが、今年度は周知方法や店舗へのサポート体制も含めた提案を受ける中で事業者を選定していく。事業者の創意工夫を十分取り入れる。店舗や消費者へのより早い周知が必要なため、事業者の選定をできる限り早く行う。

意見　キャッシュレスの普及が目的ならば、普及度が分かるデータを明示することと、必要とする店舗へのサポートをお願いする。

9月定例会の議決結果

塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホームページから見ることができます。

check!! →

○は全会一致、●は賛成多数

議案番号		件名	審議結果
令和2年度決算認定	91	一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	●
	92	水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○
	93	水道事業決算の認定	●
	94	公共下水道事業決算の認定	○
	95	松阪市民病院事業決算の認定	○
補正予算	96	一般会計補正予算（第７号）	●
	97	競輪事業特別会計補正予算（第１号）	○
	112	一般会計補正予算（第８号）	○
	113	一般会計補正予算（第９号）	●
条例	98	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定	○
	99	多目的研修集会施設条例の廃止	○
	100	地域集会所条例の一部改正	○
	101	過疎地域自立促進基金条例の一部改正	○
	102	市営住宅条例の一部改正	○
	103	市立学校施設目的外使用条例の一部改正	○
	104	旧学校施設条例の一部改正	○
	105	水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○
人事	114	人権擁護委員候補者の推薦	○
	115	人権擁護委員候補者の推薦	○
	116	監査委員の選任	○

議案番号		件名	審議結果
その他	106	過疎地域持続的発展計画	○
	107	工事請負契約の締結（下水道ストックマネジメント事業宮町ポンプ場改修（No.3 ポンプ設備）工事）	○
	108	財産の無償譲渡	○
	109	市道路線の認定	○
	110	市道路線の変更	○
	111	専決処分の承認（令和３年度一般会計補正予算（第６号））	○
請願	1	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	○
	2	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	●
	3	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○
	4	防災対策の充実を求める請願書	○
発議	7	議会特別委員会の設置	○
	8	議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正	○
	9	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	○
	10	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	●
	11	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○
	12	防災対策の充実を求める意見書	○

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号＼議員名	政友会								蒼水会						市民クラブ					公明党			会派に所属しない議員					
	中村誠	松本一孝	市野幸男	米倉芳周	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	山本芳敬	森遥香	野呂一平	赤塚かおり	深田龍	沖和哉	濱口高志	東村佳子	吉川篤博	橘大介	楠谷さゆり	中島清晴	小野建二	奥出かよ子	松岡恒雄	小川朋子	殿村峰代	田中正浩	西口真理	海住恒幸	久松倫生
91	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
93	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
96	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
113	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
請願２	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
発議 10	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議長 堀瑞 脩は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。

Q & A 一般質問

9月10日、14日、16日に15人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

9/10

西口　真理
久松　倫生
森　　遥香
小川　朋子
赤塚かおり
小野　建二

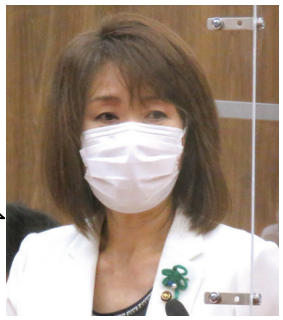
9/14

奥出かよ子
橘　　大介
田中　正浩
殿村　峰代
濱口　高志
沖　　和哉

9/16

米倉　芳周
松岡　恒雄
海住　恒幸

※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。
※ QR コードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）



会派に所属しない議員
西口（にしぐち）　真理（まり）　議員

巨大風力発電計画に対する松阪市の立ち位置は

問 蓮（はちす）ダムを中心とした飯高の山岳地域に最大出力が白猪（しらい）山の10倍、最大60基の計画が事業者から出され、地元では大騒ぎの状態になり、たくさんの方が意見書を出された。市としても住民の意思を把握する事は大切だと思うが、事業者に問い合わせて意見書の提出件数や内容を共有できないものか。

答 次の方法書の作成で一般意見の概要、事業者の見解が示されるので確認する。

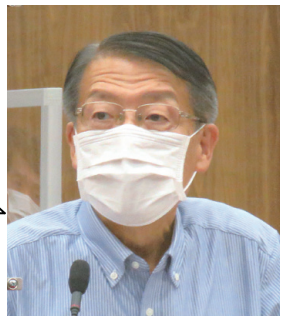
問 市としてもう少し住民の意見を聞く姿勢を持てないか、残念に思う。以前、住民の合意がなければ風力発電は認められないと答弁されたが、変わりないか確認させていただきたい。

答 地域の合意が前提になるということに変わりはない。こうした計画に関して我々行政は中立な立場である。その上で皆さんの意見を反映して市長意見として知事に申し上げるという手続きである。

問 この飯高の風力発電所、建てたら住民の生活が一変してしまう。市長は、市民の健康や安全を守るのが第一の役割ではないか。また、飯高、飯南に対する施策も転換することになるのでは。

答 住民生活が一変する、様々な影響が出る、それは何をもってか。まずは科学的に調査するのが今回の手続きで、影響があると断定するものでない。今の時点で市としての結論が出るものではない。

会派に所属しない議員
久松（ひさまつ）　倫生（みちお）議員



コロナ感染症の急激な拡大へ どう対応していくか

問　現状についての基本認識と感染拡大防止への課題は何か。

答　過去最多の感染者が発生し、自宅療養も自宅待機も危機的な状況である。

地域全体で感染を防ぐ意識を共有することが重要。今が一番危ない。

ワクチン接種の促進、自宅療養者や自宅待機者への生活支援、検査が必要。命と経済を守る対策を打っていきたい。

問　緊急事態のもと、学校が分散登校と自宅学習の組み合わせになっていると受け止めている。学力保障が大事であるが、差が出ることはないか。

答　緊急事態を乗り越えようという学校現場の底力、がんばりを感じる。取り組み、習熟度に差は見られるが、アンケートをしっかりと実施し、課題を明らかにして一人一人を大切にした学びを進めていく。

公立保育園の統廃合について 乱暴なやり方は避けるべき

問　6月の予算議決後、地域、保護者と十分な協議を行いながら進めることになっているか。公立2園を廃止する工程についての考え方は。

答　保護者の不安を取り除くことが課題。10月から個別の懇談会を持つ。認可保育園の候補者の決定があってから、閉園する園について12月から1月に説明させていただきたい。

蒼水会
森（もり）　遥香（はるか）議員

オンライン活用・SNS発信の強化を

問　市民との対話の場が減少するコロナ禍。各部局のSNS活用と代替案は。

答　Twitter（ツイッター）7、Instagram（インスタグラム）8、Facebook（フェイスブック）14、YouTube（ユーチューブ）3のアカウントを各部局で運用している。情報発信の周知、強化、新たな広報媒体導入の必要性、既存の広報媒体の見直しを行う。

意見　若年層のフェイスブック離れが進んでいる。他の媒体活用に注力いただきたい。

問　仕事・育児・交通の便などの理由でネット参加希望の声を聞く、市長と語る会。オンラインで定期的に実現してはどうか。

答　この活動の特徴は膝を突き合わせた本音トーク。ネット上での開催はまだ慎重な姿勢だが、コロナの影響が長引けば開催も考えていく必要はある。

コロナごみ増加と 環境・財政への負担

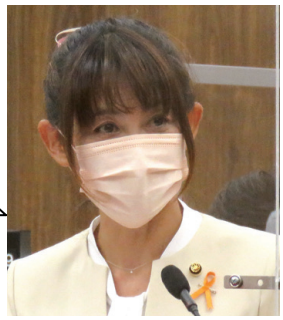
問　コロナごみ（不織布マスクや弁当容器などコロナ禍で増えたプラごみの総称）増加に対する家庭ごみ啓発状況は。

答　3Rや3切（きり）運動推進をますます進める。

問　コロナごみのポイ捨ても多い。清掃ボランティア・環境美化啓発のため、オンライン発信に注力してはどうか。

答　自治会等と共催の清掃活動は、ゴミ処分手数料の免除措置がある。分かりやすいようにホームページなどでPRを検討し、今後の環境啓発全般にSNS活用を考えていく。

会派に所属しない議員
小川（おがわ）　朋子（ともこ） 議員



コロナの正しい情報発信と全体を俯瞰（ふかん）した医療対策を

問 市ホームページでは感染者でない無症状の陽性者を含めて患者と表現している。PCR 検査で陽性でも、無症状なら感染とは言わない。陽性イコール感染なのか。

答 県の公表方法に準じているが、指摘のように、市民に分かりやすい発信を検討していきたいと考えている。

意見 無症状の陽性者を含めて患者と表現するのは、市民の皆さんに誤解を生む可能性がある。部局間の連携で、正しい情報を発信するべきである。

問 県内で濃厚接触者の妊婦が産婦人科の診察を断られ流産するという悲しい事故があった。コロナの入り口と出口、全てを俯瞰（ふかん）した医療体制の構築が必要だと感じるが、市長の考えは。

答 その事例の方も早くワクチンを打っていればよかった。私はそう思う。ワクチンは義務ではない、個人の判断で接種することかと思うが、極力やはり皆さんに接種をしていただいて、いわゆる社会的免疫が構成されるようにしていくべきである。

意見 ワクチン接種は関係ない。妊婦さんは濃厚接触者で受診拒否された。つまり、ワクチンを打っている、打っていないは関係なく、濃厚接触者で PCR 検査も受けられずに受診を断られたから、診察が遅れたということ。それが流産に繋（つな）がった。そのようなことが、本市で起こらないように願う。

蒼水会
赤塚（あかつか）かおり 議員

長期化するコロナ禍・孤独と孤立を防ぐ

問 未曽有のパンデミックは社会における孤独や孤立の課題を顕在化させた。経済の悪化による社会的孤立を増やさない取組が急務である。ひとり親世帯は、非正規や飲食サービス業等に従事している世帯が多く、休業要請、一斉休校によって経済状態は苦しい状況。経済格差と情報格差も生まれる。有益な支援策をどのような方法で周知しているのか。

答 個別に案内チラシを送付。市のホームページ、広報等を活用し周知を図っている。

問 松阪ナビは早くて正確な情報を得ることができる。支援策をまとめたアイコンがあると情報を得やすいと考えるが。

答 広報広聴課と連携し、必要な情報が届くよう、アイコンの対応等を図っていく。

問 アナログ支援とデジタル支援をうまく活用することは、孤独や孤立を防ぐだけでなく、コロナ収束後の地域ネットワークの包括的な支援体制の構築につながる。デジタルを活用した情報発信の強化に本気で取り組んでいく必要があるが。

答 コロナを通じ、ＤＸが大きく進んでいく。デジタル社会に対応できるよう松阪市としても図っていきたい。

意見 孤独や孤立を防ぐ支援は生きる支援。一人一人の命を守ることは松阪市民の命を守ることにもなる。必要とする人に必要な支援を的確に届けることのできる松阪市であることを望む。

公明党

小野（おの）　建二（けんじ）議員

津波避難タワーと地区防災計画

問　西黒部地区と鵜地区が安全に避難するため、新たに津波避難タワーを反映した地区防災計画が必要ではないか。

答　避難経路の見直しや活用等、再検討が必要。地域の皆さんと連携し、ワークショップ等を行い、津波避難タワーを反映した地区防災計画の策定支援を行っていきたい。

問　男女共同参画の視点で、女性の要望をしっかり反映し、充実した地区防災計画にしていくべきでは。

答　男女共同参画の視点からもやはり女性も参画いただき、地域の計画は非常に重要なことと捉まえ、地区防災計画作成に当たり、女性の参画を働きかけていきたい。

市役所等の案内配置図と高齢者向けのスマートフォン教室

問　市民の皆さんがスムーズに手続きできるよう案内配置図を充実しては。

答　デジタルサイネージや地図つきの案内板を年度内の設置に向けて２業者と話している。

問　市 HP に市民の皆さんの利便性向上のため、市役所案内配置図の添付の考えは。

答　できるだけ早く対応させていただけるよう話し合っている。

問　高齢者向けスマートフォン教室開設を。

答　市民の利便性を向上させるためにも、情報格差解消に向け市民に分かりやすく優しいデジタル活用を推進していきたい。

公明党

奥出（おくで）かよ子（こ）議員

コミュニティ交通の弱者対策と飯高再編

問　「道の駅飯高駅」までの延伸による飯高管内の移動手段の再編についての考えは。

答　人流が多い「道の駅飯高駅」を拠点として検討し、効果的で実用性のある移動手段の構築と地域住民による助け合いの活用も含め検討していく。ワークショップ開催も予定しており、移動手段に困っている方の意見を通じて現状把握に努めていきたい。

待機児童解消の取組

問　待機児童が発生している一番の要因は。

答　認可定員の人数の受入れができていない状況。保育士の確保が重要であり、大きく影響している。

問　受入れ拡大のため正規職員の採用拡大はできないか。

答　保育士確保は、公私立全体で松阪の保育園という考え方で対応が必要と考える。

問　潜在保育士復職・就職支援研修会の在り方見直しの考えは。

答　基本は３日としているが、もう少し現場実習を受けたい場合、受入れ園と調整し、実習を増やすことなど、対応させていただきたい。

意見　松阪の明るい未来のため、幼稚園の 19 時までの預かり保育や２歳児からの保育の実施について、前向きに検討いただきたい。

用語解説　デジタルサイネージ…屋外や公共空間などに設置されている映像表示システム。「電子看板」ともいう。

市民クラブ

橘（たちばな）　大介（だいすけ）議員

蓮（はちす）ダムの浸水想定図の公表を受けて松阪市の対応は

問　対象地域は櫛田川流域と飯高、飯南。地域防災計画における浸水想定図の大幅な見直しを求めたいがどうか。

答　蓮ダム管理所との事前放流による洪水調節機能の強化を図っていきたい。

問　地域住民の周知徹底が必要では。

答　今後、飯高宮前地区や大石地区などで説明会等を予定している。

問　地域防災計画の大幅な見直しが必要では。

答　家屋倒壊等氾濫想定区域などの記載を追加し、令和３年度修正の地域防災計画に反映したいと考えている。

問　洪水ハザードマップと浸水想定図を合わせたマップの作成が必要では。

答　土砂災害ハザードマップ地区別版と縮尺を合わせて、１枚に示す区域を同じ区域とするような形で作成していきたい。

どうなる松阪公民館？

問　松阪公民館、大型商業施設が営業を休止するという報道があった。市は事前に知っていたのか、報道で知ったのか。

答　一時休業は、新聞で拝見した。

問　公民館活動は守られるのか。

答　松阪公民館の活動が継続できるよう、契約締結に向けた働きかけに努めていく。

その他の質問　・香肌イレブン

会派に所属しない議員

田中（たなか）　正浩（まさひろ）議員

市民病院に３億円の手術支援ロボットが本当に必要か

問　内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入した時の年間維持費と償却年数は何年とみたか。

答　メンテナンス料は年間 1,600 万円、耐用年数は会計処理上５年である。

問　年間何症例の手術を行えば病院経営にプラスになると考えるか。

答　手術支援ロボットによる投資分を回収するには年間 40 症例の手術が必要。

問　40 症例はあまりにも少なく思うが。

答　１症例当たり約 150 万から 160 万の診療報酬があると見込んでいる。

問　ロボット導入に国からの補助金はあるか。今なぜ導入するのか疑問である。

答　手術支援ロボットに関する国からの補助金はない。

問　手術ロボットを松阪の３大病院全部が導入する。高額な機械を買わない方が良かったと思うが。

答　非常に患者に優しい医療だということで各病院が取り組んでおり、患者にとって大きなメリットがあると理解している。

意見　松阪市民病院は、地域包括ケア病棟を中心とした病院に機能転換すべきとの答申が出ている。松阪市民病院を高度急性期病院として残すというお考えなら、別に問題はないと思うが、高度急性期病院のような高度なロボットが本当に必要なのか。

会派に所属しない議員
殿村（とのむら） 峰代（みねよ） 議員

新型コロナの現状と市民の不安軽減のための対策は

問 無症状濃厚接触者への検査体制が取れない保健所のウイルスまん延防止の予防的実施をどのように把握判断しているか。

答 松阪保健所管内で自宅療養者８月ピーク時約200人、９月９日約100人。濃厚接触者も500人。危機的状況と認識。無症状者への検査は基本行われない。

問 市民の命を守り、安心していただくための具体的な情報支援は検討しているか。

答 ワクチン接種の促進、自宅療養者、濃厚接触者の自宅待機者への生活支援、PCR検査の拡充に努めたい。

すべての未就学児に医療費支払い窓口無料化を

問 すべての未就学児に医療費窓口無料化の助成の在り方を検討する機会は。

答 コロナ禍の状況で、未就学児の助成件数は令和元年73,835件、令和２年68,194件と減少。今後の推移は非常に不透明。機会を設ける時期に至っていない。

意見 若い年齢層の人口流出を防ぐためにも早いうちに機会を設けることが大事。

飯高地域で計画される風力発電 松阪市の姿勢は

問 配慮書に対する1,000を超える意見書が出た。松阪市は中立で良いか。

答 科学的根拠に基づく意見が重要。

意見 この開発自体が脱炭素か十分検証を。

蒼水会
濱口（はまぐち） 高志（たかし） 議員

分散登校時の給食費は無償化してはどうか

問 現在、松阪市では約半分の子が給食を食べていない。必要な子は登校日に当たっていなくても食べられる。登校日でも食べたくない子は帰って自宅でリモート授業を受けるとのことだが、食材は全員分準備しているのか。

答 毎日食べる子、半分の日食べる子、全く食べない子の３種類を保護者に選択してもらい喫食（きっしょく）数を計算している。

問 給食費の徴収はどうしているのか。

答 食べた分だけを徴収する。

意見 徴収業務が複雑になる。いっそのこと、この期間は無料にしてはどうか。

通学路の危険個所には早急な対応を

問 今年６月、千葉県八街（やちまた）市での児童５人が死傷する事故を受け、類似の危険箇所は無いか点検を実施したのか。

答 各小学校で地域や保護者の協力をいただき、危険箇所を調査し、９月中旬までに報告するよう依頼している。

問 市道星合舞出線のJR踏切周辺が八街市の事故現場に類似している。建設水道委員会で毎年予算が上がっているが、工事はいつ終わるのか。

答 用地は93%取得し、おおむね69%の進捗（ちょく）で、令和５年度完了目標で進めている。

意見 土地所有者に理解を得ていただき、早期に工事を完了していただきたい。

蒼水会

沖（おき）　和哉（かずや）議員

子ども達のために公園遊具の修繕を！

問　市内の453カ所の公園のうち133公園が20年以上経過してるとのことであるが、国の指針では鉄製遊具の耐用年数は15年とされている。錆や塗料が剥離している状態の公園も少なくないが、点検等でどう判断しているのか。

答　A～Dの4段階評価で、錆や塗装の劣化等はC判定となり、D判定に近い危険な遊具から順次修繕を行う。

問　子どもの安全安心を第一に考えた状況ではない。塗料の剥離は手足や衣服に付くし、子どもはすぐ手を口や目に持っていく。抜本的な改善を求めたい。

答　連携体制や修繕のタイミングを再考し、できる限り早く修繕対応していく。

産後ケア事業の料金軽減ときめ細やかな支援を！

問　不妊治療中の方や産婦の方へもワクチン優先接種枠を拡大できないか。

答　優先枠ではないが集団接種会場に空きがあるので、利用していただきたい。

問　産後ケアという退院直後の母子のケアや育児のサポートを行う事業だが、松阪市は周辺の市よりも料金が高く、訪問事業もない。事業の拡充や料金の軽減を求めたいが、どうか。

答　比較して整理し、見直していきたい。

意見　産後うつや虐待を防ぐためにも、細やかな支援をお願いしたい。

政友会

米倉（よねくら）　芳周（よしちか）議員

飯高地域に（仮）三重松阪蓮（はちす）ウインドファーム発電所計画

問　事業者より配慮書が出され8月30日を期限に意見書の提出を求められたが、この度提出した市長の意見書は、非常に端的な「弱い文書」であると感じる。「住民の合意なしでは事業の推進はない」という文面、ひとつの「くさび」が必要ではなかったか。また、市長はこの事業に対し「中立」と述べているが、地域において賛成、反対で二分されるであろう事態に「中立」という文言は行政のトップが言うべきことではない。聞く側の者にとっては、曲解（きょっかい）を招く恐れがある。その点はどうか。

答　市では環境影響評価の委員会を設け、答申として知見をいただき意見を出している。「事業の推進というのは、地元の理解と合意が前提である」とは常々言っている。難しいことは、反対から見ると違うように取られ、推進をしたい方から見ると違う見方になる。そのところを十分配慮しながら意見を述べた。この事業自体に「中立」という立場で臨まないと行政として誤った方向の話になると思う。

意見　計画全域が県立自然公園、鳥獣保護区、保安林区、そして櫛田川源流域で、多様性生態系を有する地域である。またこの山々には住民が居る。森林伐採による二酸化炭素の吸収量の大幅減少も発生する。そこへ60基の発電機である。この事業の社会的必要性、価値はあるのか。

公明党
松岡（まつおか） 恒雄（つねお） 議員

夜間中学設置の取組

問 もう一度学びたいと希望する場合の教育を受ける機会の確保について、教育委員会としてどのような考えか。

答 誰もが可能性を最大限引き出し、豊かな人生を送れるように学び続けることが大切であり、多様な学習の機会を確保し、学習者のニーズに合った内容の充実に努めてまいりたい。

問 松阪市の夜間中学設置のニーズは確実に存在すると考えているが、考えは。

答 令和元年度の県のニーズ調査の結果から、外国人住民の設置ニーズは一定数あると認識しながらも、どのような学びの場が適切であるか、研究を進めていく必要がある。

問 三重県の「まなみえ」のような夜間学級体験教室ができないか。

答 「まなみえ」については、対象者へ周知を行っている。県教育委員会と連携し、情報提供やタブレット貸し出しのような形で協力してまいりたい。

問 外国籍の皆さんへの夜間中学のようなものの取組についての考えは。

答 就学年齢を超え、就労を目的とし来日する外国の方に対し、どのような支援ができるのか、教育として担うべきものなのかを含め、研究を進めてまいりたい。

その他の質問
- 二酸化炭素濃度測定器の設置
- 地域気象防災支援の取組

会派に所属しない議員
海住（かいじゅう） 恒幸（つねゆき） 議員

風力発電計画、市長の役割は

問 山林への風力発電事業に対し知事に意見書を出すことだけが市長の役割でない。もっとほかにも役割はある。それをお答えいただきたい。

答 市を代表しての意見表明となるのでそれは重たい。県の方へ市全体の意見を出すことがまずは仕事になってくる。

問 それは法律に基づく役割。法律にはない部分でできることをやっていただきたい。地域住民はちゃんと情報がほしいが業者に求められない。行政には事実を住民に伝える責任がある。地域の歴史や営み、自然との関わりなど、環境アセスメントでは評価の対象にならない部分から計画が適切かどうかを判断するのに必要な材料を整理し、地域と共有。市の主催で事業者に問い掛け、回答してもらうことで、地域としてどう受け止めていくかを見いだすことができるのではないか。

答 我々行政が主体となってそういったことをやれる立場かというと非常に難しい。

意見 住民ではなく行政の側がここに造ってもらっては困る、ここは守りたいというところが出てくるかもしれない。そういったことを防ぐためにも条例を作っておかないと手遅れになる。環境アセスメントの科学的知見ではなく、どういう松阪市をつくっていきたいんだという市としての基本的な立ち位置に関わる問題だ。

議会報告会の歩み

松阪市議会は、議会基本条例を制定した翌年の平成25(2013)年4月から、原則として、年2回ずつ議会報告会を開いてきました。
昨年来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けてのリモート開催を含め、今年秋で17回を数えるまでになりました。
歩みを振り返ってみました。

2年間で43すべての住民協議会を一巡する予定でスタート！

第1回 H25.4 飯南会場51人の参加が今も最高記録

議論をできるだけ詳細に報告するため、当初予算案審議の質疑応答をまとめた報告書を30分も読み上げた。「もっとわかりやすい言葉で」「前もって報告書がほしい」などの声があった。シーンと静まり返った報告が終わると、せきを切ったように、意見が出た。飯南産業文化センター会場には51人が参加。1会場あたりの人数としては、これが今も最高記録。

第2回 H25.11 スライドが登場

パワーポイントによるスライドが登場。それでも、「ちょっと堅苦しかった」「意見交換の時間不足」「事務的で分かりづらい」という感想が聞かれた。このほか「議員の勉強不足が表れていた」「広く参加してもらえる方法を考えるべき」「質問に対して答弁してほしい」「質問時間が短い」「報告会も大切であるが、市民の思いを吸い上げる場にしてほしい」という意見が続出。そんな中、「議員の先生方がそろって説明会を開き、一生懸命答えてみえる。こんな素晴らしい光景は想像もつきませんでした。開かれた議会に急速に進んでいる」という声も。

議会報告会をWebでチェック→

第3回 H26.4 報告書の読み上げに1時間

報告書は47ページに膨れ上がり、読み上げるだけで1時間。聴いている方はさぞや大変だったろう。会場からは「わかりやすい説明でした」「地元のことも話題にしてほしい」「一方的な議会報告ではあまり出席したくはない」などの声があった。

第4回 H26.11 良い評価も悪い評価も糧に…

「勉強になった」「有意義な会」「面白かった」「議員さんの活動の内容がよくわかった」というプラスの評価と、「あまりに棒読みで、努力してきたこと、取り組んできた実績が伝わりにくい」「会場での質疑応答が長すぎて分かりにくく、的が絞られていないと感じた」とマイナスの評価も。

第5回 H27.4 2年間で全住民協議会達成！

目標どおり、2年間で43ある住民協議会を達成。市長と議会の関係を尋ねる質問が目立つ。

第6回 H27.11 竹上真人市長就任後初開催

「通り一遍の説明会では『ただやりました』ではないか」という厳しい声は相変わらず。

第7回 H28.4

「スライドを使った説明が素晴らしく、大変良かった」と何人もの人がパワーポイントの出来栄えを高評価。「前回より質問の時間が設けられ（増え？）、良かった」の声も。

第8回 H28.11

「報告にメリハリがなく、何がポイントかわからなかった」との声。

政務活動費の6割減額を決定！

8月26日の会派代表者会議において、長引く新型コロナウイルスにより、経済状況は昨年に引き続き国内外においても甚大な影響を及ぼし、松阪市の経済等への影響も大きいと懸念し、松阪市議会として、市民の生命・財産を守るために、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策等に充てていただけるよう、政務活動費の一部を削減することを決定しました。

議会報告会	開催日	会場数	参加人数
第1回	平成25年4月	11	301
第2回	11月	12	295
第3回	平成26年4月	12	219
第4回	11月	12	262
第5回	平成27年4月	7	200
第6回	11月	12	265
第7回	平成28年4月	12	212
第8回	11月	12	225

議会報告会	開催日	会場数	参加人数
9回目	平成29年4月	8	180
10回目	平成30年4月	12	311
11回目	11月	12	159
12回目	平成31年4月	12	241
13回目	令和元年11月	4	129
14回目	コロナ禍で中止		
15回目			
16回目	令和3年5月	オンライン	188回視聴

第9回 H29.4 初の土日開催！

土・日の午後開催を試行。「幅広い年齢層が参加できて良い」という声の反面、「土曜日の午後、仕事が重なり、伺いにくい」「休日の昼間の開催は一考を」「行事と重なる」の声も。曜日や時間設定は難しい。

平成29年11月は改選後、議員構成が大幅に入れ替わり、議会報告会の方向性を検討するため先送り。約1年ぶりの開催。

第10回 H30.4 過去最高311人が参加！

水・金・土と、平日の夜と週末の夜を交えて開催したところ、大ヒット。

第11回 H30.11 子育て世代向けの開催だったが…

子育て世代向けに平日の夜、中学校11校と松阪公民館（マーム）で開催したが、子育て世代の参加は少なめ。中学校は地区市民センターよりも行きにくい？

第12回 H31.4 テーマを設けた意見交換会

会場見直し。意見交換会にはテーマを設けるようになり、この回のテーマは「住みよいまちづくり」に設定。出された声は市長に伝えた。

委員会単位に変え、ワークショップも

第13回 R1.11 意見交換会に力を入れる

1日1委員会、1会場として委員会単位で実施。第2部では委員会ごとにテーマを決め、ワークショップ形式で。意見交換会が「良かった」が6割強。若い世代の参加も増えた。

12月に全体会で振り返りを実施。
各委員会が結果報告をした。

第14回 R2 第15回 R2 は、コロナ禍で中止

第16回 R3.5 5月から配信・オンライン開催

YouTube（約25分）の動画を配信。7月末までに188回の視聴。「コロナ禍の取り組みとしては良かった」「従来通りの報告会を早く」という声の反面、「ライブ配信と勘違いした」との声もあった。

第17回オンライン議会報告会は
11月22日(月)午後1時～
アンケートに
ご協力ください！
オンライン 議会報告会
12/15まで

YouTube 動画配信中！
松阪市議会チャンネル
登録おねがいします

- 対象：市議会議員28人全員（令和3年7月末 任期満了による改選後）
- 実施期間：令和3年8月分から令和4年3月分の8カ月分
- 削減額：336万円（1議員の交付額20万円を8万円にし、12万円の減額）

※9月16日、9月定例会本会議において発議第8号として「議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」（案）を上程し、全会一致で可決しました。

政務活動費をWebでチェック→

令和４年２月定例会の開催日程（予定）

会期31日間

日	月	火	水	木	金	土
		2/8 議会運営委員会	9 予算説明会	10 予算説明会	11	12
13	14	15 本会議（当初上程）	16	17	18	19
20	21 本会議（代表質問）	22	23	24 本会議（代表質問） 議会運営委員会	25	26
27	28 本会議（代表質問）	3/1	2 本会議（代表質問）	3	4 本会議（代表質問）（補正上程）	5
6	7	8 本会議（議案質疑）	9 委員会 環境福祉 文教経済	10 委員会 総務企画 建設水道	11 委員会（予備日）	12
13	14 委員会（予備日）	15	16	17 本会議（当初・補正議決）	18	19

本会議は市役所３階市議会議場で、委員会は２階市議会委員会室で、いずれも午前10時から開催します。皆さんの傍聴をお待ちしています。

新監査委員着任

10月9日から市議会選出の監査委員として、市野幸男議員が着任しました。

10月、天白小学校と松江小学校の子どもたちが議場見学に来てくれました。

▲天白小学校のみなさん

▲松江小学校のみなさん

今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科２年生、櫻井 憩(いこい)さんの「あのぬくもりをもういちどかんじたい」。

近頃寒くなって、あのあたたかさが恋しいなと思い、このようなイラストになりました。右のさるが兄、左が弟です。

編 集 後 記

12月発行となって1年経過した「みてんか」第88号をお届けします。新型コロナワクチン接種率の上昇で、全国的に新規感染者数が大きく減少しています。懸念される“第6波”に備えるため、また新型コロナの脅威を大幅に緩和させるため、飲み薬の開発が期待されています。今年も残すところ1ヶ月。議員・議会活動の在り方を模索しつつ、読みやすい「みてんか」を目指して参ります。1年間「みてんか」をご覧いただき、ありがとうございました。

広報広聴委員長　松岡　恒雄

広報広聴委員

【後列左から】
東村佳子、小川朋子、赤塚かおり、海住恒幸、中村誠
【前列左から】
深田龍（副委員長）、松岡恒雄（委員長）、堀端脩

● お問い合わせ
松阪市議会事務局

● 発行／松阪市議会　● 編集／広報広聴委員会
〒515-8515　三重県松阪市殿町1340番地1

Eメール　gikai@city.matsusaka.mie.jp
電話 0598-53-4433　FAX 0598-23-3962

UD FONT　見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。